

長門市畜産振興計画

令和5年(2023年)3月

長 門 市

は じ め に

本市は、中山間地域が多く、牛等の放牧地や牧草の生産地に恵まれていたこと、また、水産加工業の副産物である魚糟が、飼料として安価に入手できたことなどにより、近世の時代から畜産業が盛んな地でした。



こうした好条件に支えられた畜産業を基幹産業とする本市では、肉用牛の地域内生産一貫体制の整備に向け、市独自に肥育素牛の購入費を支援し、また、養鶏向けの飼料用米の生産拡大を図るなど、生産基盤の強化を図ってきたところで

す。

このような中、本市におけるまちづくりの第2次長門市総合計画のもと、令和5年度からの10年間を計画期間として畜産業振興の総合的な取組を網羅した「長門市畜産振興計画」を策定しました。

今後は、この計画を基に、畜産業者、行政及び関係団体が共通理解を図り、適切な役割分担のもと、積極的に畜産業振興に取り組むこととしています。つきましては、畜産業に関わる方々はもとより、市民の皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

終わりに、本計画の策定に当たり熱心にご審議いただきました長門市畜産振興計画策定委員会委員の皆様をはじめ、アンケートにご協力いただきました市民の皆様、畜産業者及び宿泊業者の皆様に対しまして心から厚くお礼申し上げます。

令和5年3月

長門市長 江 原 達 也

目 次

I 計画策定の基本的な考え方

1	計画策定の目的・・・・・・・・・・・・・・・・	1
2	計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・	1
3	計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・	1

II 畜産業の現状と課題

1	家畜飼養頭羽数と農家戸数・・・・・・・・	2
2	産出額・・・・・・・・・・・・・・・・	4
3	畜産物の流通・・・・・・・・・・・・・・・・	4
4	飼料生産・・・・・・・・・・・・・・・・	5
5	家畜排せつ物の有効利用・・・・・・・・	5
6	家畜衛生対策・・・・・・・・・・・・・・・・	5

III 畜産振興の施策方針

1	基本理念・・・・・・・・・・・・・・・・	6
2	基本方針・・・・・・・・・・・・・・・・	6
3	施策の体系・・・・・・・・・・・・・・・・	7

IV 課題ごとの施策展開の方向

1	担い手の確保・育成・・・・・・・・	8
2	生産基盤の整備・・・・・・・・	8
3	畜産物の需要拡大・・・・・・・・	9
4	飼料生産の拡大・・・・・・・・	9
5	有機農業との連携・・・・・・・・	9
6	衛生対策の強化・・・・・・・・	9

V 重点施策

1	ブランド化の推進・・・・・・・・	11
2	キャトルステーションの整備・・・・・・・・	12
3	畜産団地の整備・・・・・・・・	13

VI アンケート調査結果・・・・・・・・・・・・・・・・ 15

I 計画策定の基本的な考え方

1 計画策定の目的

本市の畜産は、肉用鶏、肉用牛及び養豚という多様な経営が行われており、農業産出額の約6割を占める基幹産業の一つであるとともに、県内における主要生産地となっています。

しかしながら、近年では、農家の高齢化や担い手不足などにより飼養頭数が減少する一方、飼料価格の高騰などにより経営環境は厳しい状況となっており、本市の畜産業は、かつてのような活力を失いつつあります。

このような中、本市においては、畜産農家が将来にわたって安心して経営を継続し、持続的な発展を遂げていくためには、担い手の確保や生産体制の整備・強化、地場産畜産物の消費拡大、飼料自給率の向上等を図ることが重要な課題となっています。

こうしたことから、「第2次長門市総合計画」における基本目標「地域産業が活躍する、活力あるまち」の実現に向け、ここに「長門市畜産振興計画」（以下「本計画」という。）を策定します。

2 計画の位置づけ

本計画は、本市におけるまちづくりの指針である「第2次長門市総合計画【後期基本計画】」を上位計画とし、その部門別計画として畜産業の振興に向けた施策を総合的かつ計画的に推進するためのものです。

3 計画期間

本計画の期間は、令和5年度から令和14年度までの10年間とします。

なお、畜産業を取り巻く情勢の変化等に的確に対応するため、必要に応じて内容や期間の見直しを行います。

Ⅱ 畜産業の現状と課題

1 家畜飼養頭羽数と農家戸数

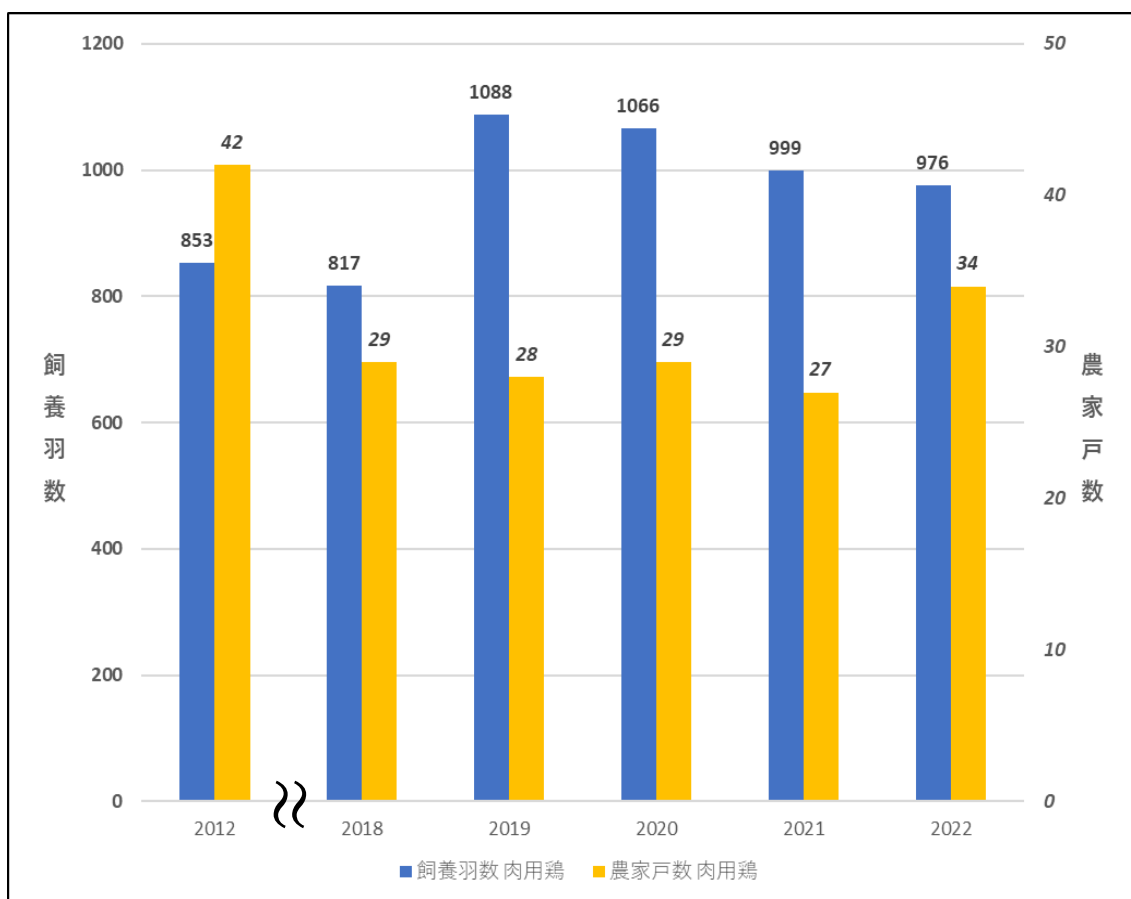
本市の畜産業の状況（令和4年2月1日畜産状況調査）を品目別に見ると、肉用鶏が34戸976千羽（県内31%）、肉用牛が78戸1,652頭（県内11%）及び豚が2戸3,092頭（県内9.4%）となっており、飼養規模はいずれも減少傾向にあります。

肉用牛は、繁殖経営が肉用牛農家全体の87%を占めています。それに対し、一貫経営は5戸、肥育経営は5戸と全体の13%となっています。

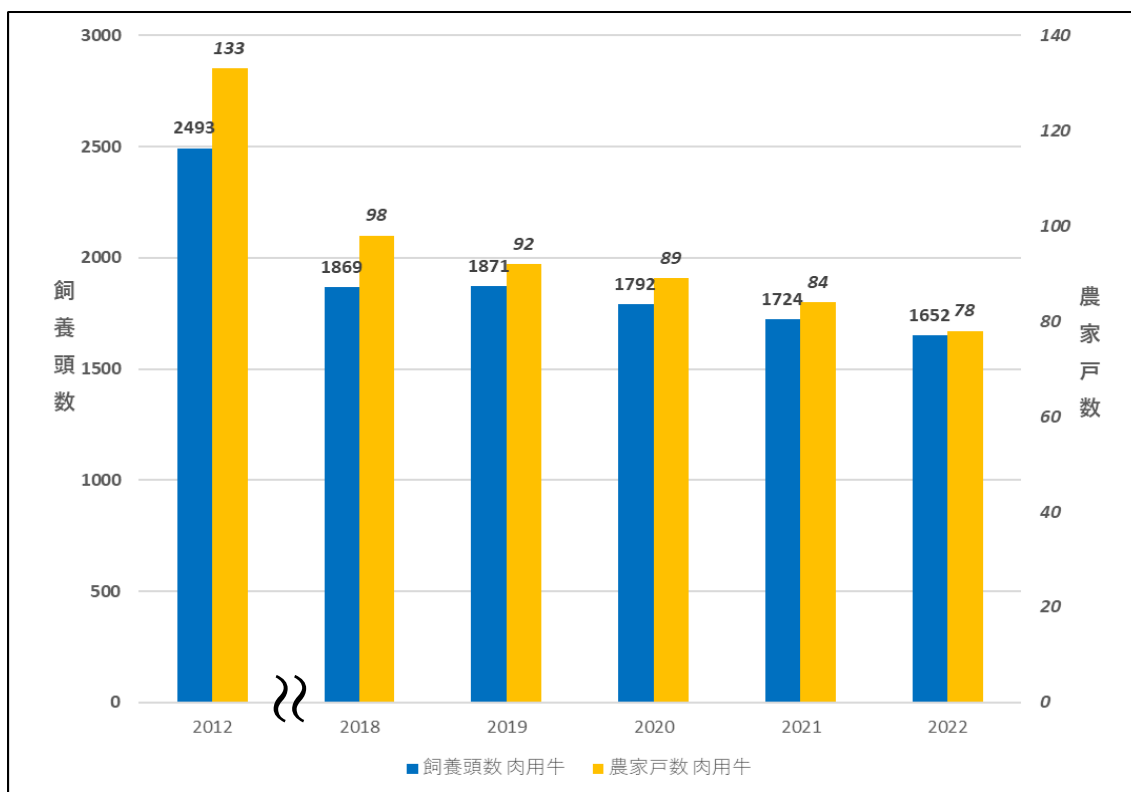
■飼養頭羽数と農家戸数の推移

【鶏】 飼養羽数（千羽） 農家戸数（戸）

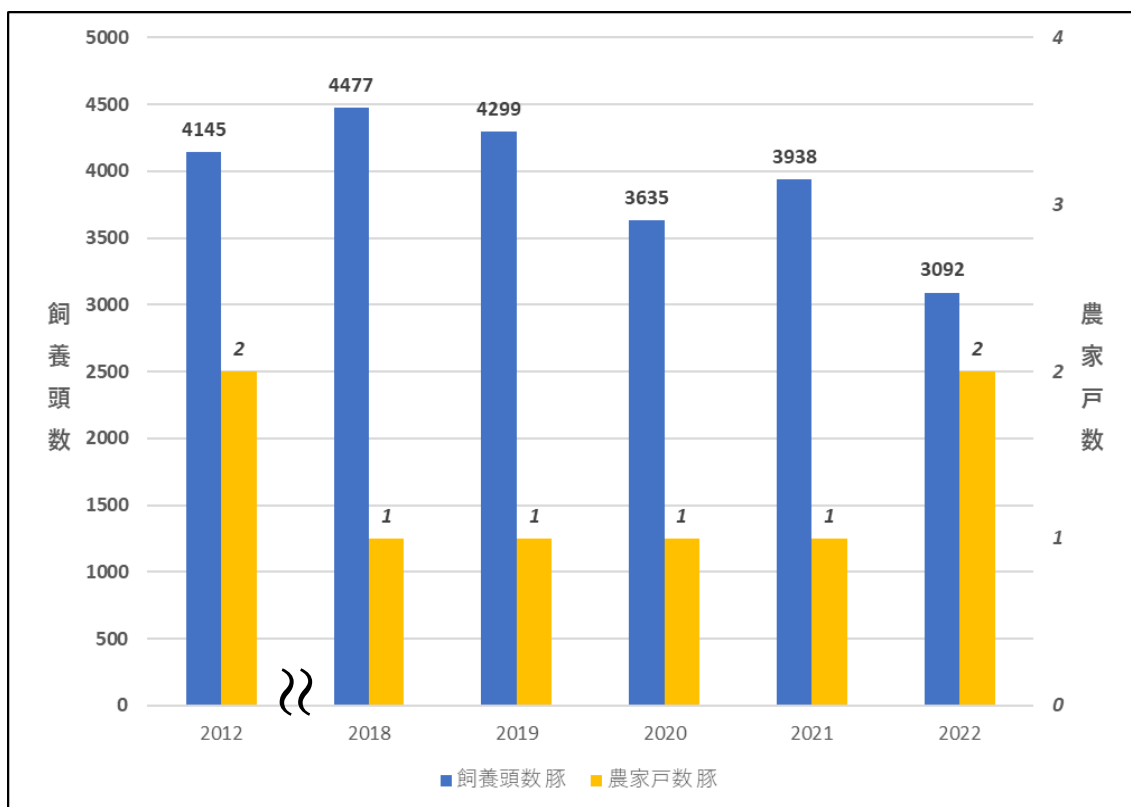
（出典：畜産状況調査）



【肉用牛】飼養頭数（頭）農家戸数（戸）

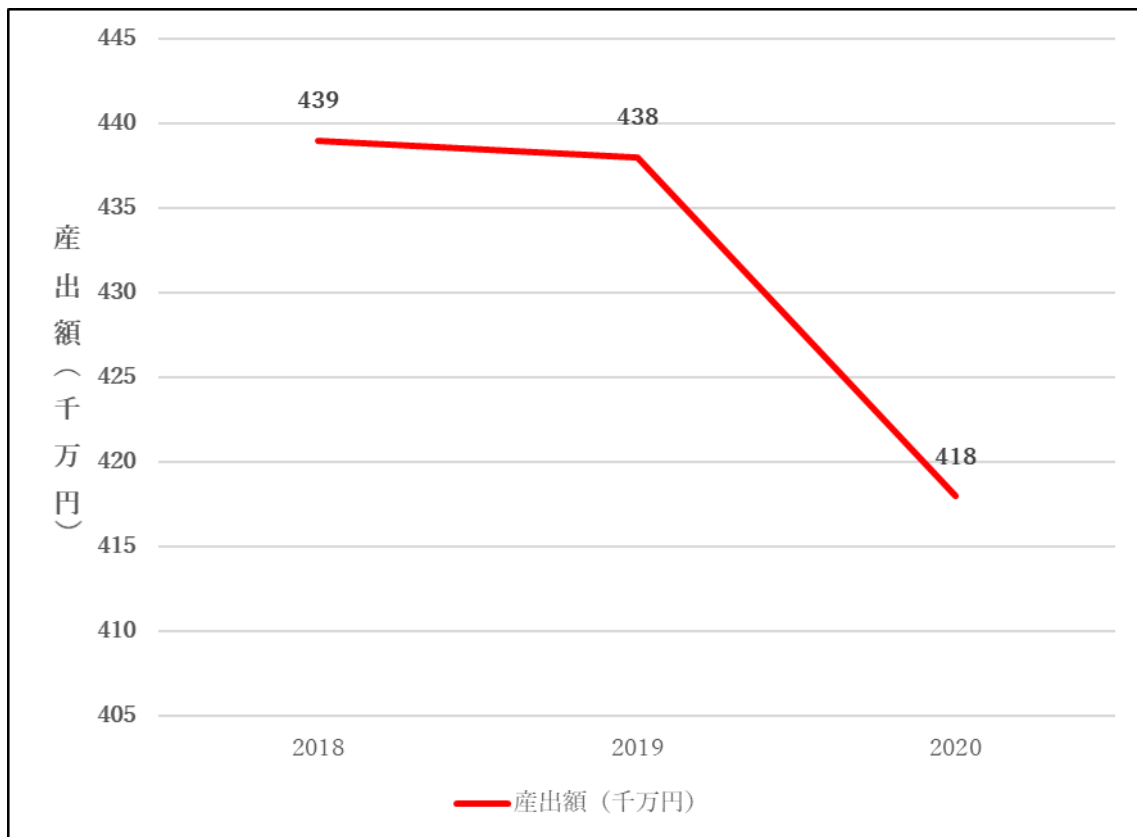


【豚】飼養頭数（頭）農家戸数（戸）



2 産出額

産出額（令和2年市町村別農業産出額）の状況は、畜産全体で418千万円であり、農業全体の63%を占めています。畜産の中では、肉用鶏が322千万円と最も多くなっています。



3 畜産物の流通

畜産物の流通の状況は、品目別に見ると、肉用鶏では、養鶏専門農協が生産から販売までを行っており、年間約580万羽が出荷されています。特に県産オリジナル地鶏である「長州黒かしわ」については、市内で2.2万羽が生産・販売されています。

肉用牛（和牛）では令和3年度に年間609頭の子牛が生産され、477頭の子牛が市場へ出荷されています。その出荷された子牛や市外産子牛を肥育農家が購入・肥育するとともに、一貫農家が自家産子牛を肥育し、年間200頭余りを県外の食肉市場へ出荷しています。そのうちの50～60頭が「長州ながと和牛」として長門市内で販売されていますが、供給量は減少しています。

豚では、主に法人が一貫体制で生産しており、年間約5,500頭の肥育豚を出荷しており、当該法人のブランド豚として市内で販売されています。

4 飼料生産

肉用牛では、従前から水田を活用し、稲わらや牧草等の粗飼料が自給されており、飼料用イネ（WCS）を含む飼料作物の作付面積は 335ha（令和 3 年度）となっています。また、養鶏では飼料用米（作付面積 300ha）を利用する動きが高まっています。

さらに、近年、輸入飼料価格が高騰しており、国際情勢等の影響を受けにくい国産飼料への転換を図ることが重要です。

そのため、農業法人を中心に飼料生産コントラクターを育成するとともに、収穫調製機械や貯蔵施設等の整備や反収向上のための技術指導に取り組む必要があります。

5 家畜排せつ物の有効利用

本市では、家畜排せつ物が牛・豚・鶏を合わせて年間 68,000 t 排出されており、それらに起因する畜産環境問題は、畜産経営の存続に大きな影響を及ぼします。

そこで、これらの家畜排せつ物を原材料に高品質な畜産堆肥を安定的に生産・供給することにより、耕畜連携による持続可能な農業を推進するとともに、耕種農家と連携し、地域農業への有機肥料の利用を促進する必要があります。

6 家畜衛生対策

国内では、高病原性鳥インフルエンザや豚熱の感染拡大や農場発生により、畜産経営に甚大な損失を与えています。また、近隣諸国では、アフリカ豚熱や口蹄疫が継続発生しており、国内への侵入が懸念されています。

これらの家畜伝染病が万が一、本市で発生すれば、畜産業を始め関連業種に多大な経済的影響を及ぼすことになるため、発生やまん延防止のための家畜衛生対策や防疫体制の堅持に取り組む必要があります。

Ⅲ 畜産振興の施策方針

1 基本理念

本市の畜産業は、基幹産業の一つであり、安全・安心な畜産物の安定供給という基本的な役割だけでなく、飼料生産等による農地の有効活用、家畜排せつ物の堆肥化による有機質資源の供給など、重要かつ多面的な役割を果たしています。

このような畜産業の多様な機能を維持・拡充していくためには、担い手を確保・育成し、その担い手が将来にわたって安心して経営を継続していくことが重要です。

このことから、次代の担い手が誇りをもって働けるよう、畜産で稼げる仕組みの実現に向けて取り組んでいくこととします。

【基本理念】

次代の担い手が活躍し、畜産で稼げるまち・ながとの実現

2 基本方針

(1) 担い手の確保・育成

意欲的な人材の新規就業支援を行うとともに、既存農家を含めて、働きやすい環境づくりや、所得向上につながる新たな事業展開など、次代を担う畜産就業者の確保・育成に努めます。

(2) 生産基盤の整備

施設・機械整備や家畜導入はもとより、子牛の預託施設の整備や、スマート畜産の導入により、省力化や生産性の向上、高品質化を促進します。

(3) 畜産物の需要拡大

「安全・安心・高付加価値」のブランド化に取り組み、販路の拡大と販売価格の向上につなげ、効果的な需要拡大対策を展開します。

(4) 飼料生産の拡大

水田や耕作放棄地等の有効利用による自給飼料生産拡大を推進し、飼料自給率の向上を図ります。

(5) 有機農業との連携

優良な畜産堆肥を有機質資源として供給することで、地域における有機農業等との連携を図ります。

(6) 衛生対策の強化

飼養衛生管理基準の遵守等により、衛生対策の強化を図ります。

3 施策の体系

	基本方針	施策展開の方向
基本理念 次代の担い手が活躍し、畜産で稼げるまち・ながとの実現	担い手の確保・育成	① 新規就農等への支援 ② アグリながとでの飼養管理技術等の研修 ③ 法人化の促進
	生産基盤の整備	① 地域一貫生産体制の確立 ② スマート畜産の導入 ③ 畜産生産の拠点化 ④ 肉用牛の大規模生産体制の整備 ⑤ 堆肥処理施設の整備
	畜産物の需要拡大	① ブランドの確立と普及 ② 販路拡大と販売価格の向上 ③ 定量生産・定量販売体系の構築
	飼料生産の拡大	① 耕畜連携による自給飼料生産の拡大 ② 飼料生産コントラクターの普及拡大 ③ エコフィードの活用
	有機農業との連携	① 高品質な畜産堆肥の生産と供給 ② 耕畜連携を通じた有機農業の推進
	衛生対策の強化	① 家畜伝染病対策 ② 安全・安心な畜産物の供給

重点施策

- ブランド化の推進
- キャトルステーションの整備
- 畜産団地の整備

Ⅳ 課題ごとの施策展開の方向

1 担い手の確保・育成

① 新規就農等への支援

○市内の空き畜舎等を貴重な経営資源として活用し、関係機関と連携して、新規就農者や規模拡大農家への継承を促進します。

② アグリながとでの飼養管理技術等の研修

○新たな畜産担い手の育成のため、アグリながとで安定的な経営を目指す飼養管理技術や、経営知識の習得に取り組み、次世代を担う担い手の確保・育成を推進します。

③ 法人化の促進

○畜産経営の安定化と事業継続のため、法人化の取組を促進します。

○法人の経営安定化のため、関係機関が一体となり支援体制を整備します。

2 生産基盤の整備

① 地域一貫生産体制の確立

○市独自の優良雌牛導入・保留事業や、肥育素牛導入事業の拡充等により、高品質な肉用牛の種畜から肥育までの地域一貫生産体制に取り組みます。

○飼料用イネや飼料用米等、地域内での飼料増産に取り組みます。

② スマート畜産の導入

○市独自のIoT等活用農業推進事業等により、各種スマート関連機器等の導入による省力化・生産性向上・事故率低減に取り組みます。

③ 畜産生産の拠点化

○効率的な堆肥処理や、肉用牛及び肉用鶏の一貫生産体制を推し進めるため、拠点となる総合的な畜産団地を整備します。

④ 肉用牛の大規模生産体制の整備

○中核担い手における肉用牛の増頭と安定した生産体制を整備します。

○ブランド牛の生産拡大のため、関係機関と連携して、キャトルステーションや肥育施設の整備に取り組むとともに、肉用牛ヘルパー制度の活用を促進します。

⑤ 堆肥処理施設の整備

○家畜排せつ物を優良な畜産堆肥とするための堆肥センター等の堆肥化処理施設を整備します。

○家畜排せつ物をバイオマスエネルギーとして有効活用する可能性について、関係機関と連携して検討します。

3 畜産物の需要拡大

① ブランドの確立と普及

○「長州ながと和牛」や「長州黒かしわ」、「長門ゆめん豚」等のブランド品目の確立と消費者への普及を図ります。

② 販路拡大と販売価格の向上

○長門市内における取り扱い業者の拡充や高品質な畜産物の生産による販売価格の向上を図ります。

③ 定量生産・定量販売体系の構築

○生産基盤の整備や生産効率の向上により、ブランド品目の安定供給体制の構築を図ります。

4 飼料生産の拡大

① 耕畜連携による自給飼料生産の拡大

○水田の面積割合の高い本市の特徴を踏まえ、粗飼料については、耕畜連携を基本に飼料作物等の反収向上を図り、棚田等の生産性の低い基盤については、山口型放牧^{※1}の導入により草資源の活用を図ります。

② 飼料生産コントラクターの普及拡大

○飼料用イネ（WCS）や飼料用米の生産拡大に取り組むため、栽培から収穫・調整を行う飼料生産コントラクターの普及拡大を図ります。

③ エコフィードの活用

○エコフィード（市内特産物の食品残さ等を活用した飼料）等の開発や給与実証による畜産物の差別化を検討します。

5 有機農業との連携

① 高品質な畜産堆肥の生産と供給

○地域での持続可能な農業を行うため、高品質な畜産堆肥の生産を行うとともに、耕種農家への安定供給と利用促進を図ります。

② 耕畜連携を通じた有機農業の推進

○耕種農家との耕畜連携を拡大し、本市の有機農業等の推進に寄与します。

6 衛生対策の強化

① 家畜伝染病対策

○家畜伝染病の発生予防のため、県家畜保健衛生所の指導のもと、飼養衛生管理基準の遵守やワクチン接種、衛生検査等に取り組みます。

○口蹄疫や豚熱、高病原性鳥インフルエンザ等の発生に備え、地域が一体となった防疫体制の堅持やまん延防止対策の強化を図ります。

② 安全・安心な畜産物の供給

○JGAP^{※2}や農場 HACCP^{※3}、やまぐち高度衛生管理農場認定制度^{※4}に基づき、家畜生産農場における高度衛生管理の取組を推進することで、安全・安心な畜産物の供給を図ります。

【用語説明】

※1 山口型放牧	転作田や耕作放棄地などに電気牧柵等を設置して牛を放牧し、肉用牛経営の省力化や遊休地の解消による農地保全のほか、耕作放棄地がきれいになることでイノシシなどの獣害が減少するもの
※2 JGAP	Japan Good Agricultural Practice の略で（日本の 良い 農業の やり方） 農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取組
※3 農場 HACCP	家畜の伝染病の発生防止・まん延防止だけでなく、畜産物の安全確保の観点からも、家畜の所有者が遵守すべき飼養衛生管理基準の普及・啓発に努めるとともに、家畜農場における危害要因分析・必須管理点（HACCP）の考え方を採り入れた飼養衛生管理に取り組む農場を認定するもの
※4 やまぐち高度 衛生管理農場 認定制度	家畜の防疫体制の強化と安全・安心な畜産物の生産を推進するため、山口県独自の衛生ガイドラインに基づき、高度な衛生管理に取り組む農場を認定するもの



V 重点施策

1 ブランド化の推進

長門市産ブランド食肉の高付加価値化に向けて、さらなる品質向上に努めるとともに、様々な機会を活用して販路の開拓・拡大を図ります。

また、長門市産食肉に関する消費者向けアンケートで、多くの声があった「もっと購入できる場所を」「もっと食べられる場所を」を実現し、市内外への販売促進につなげます。

■取組内容

(1) 品質向上

- ・家畜の快適性に配慮した飼養管理の促進
- ・安全安心な流通の確立を通じた消費者の信頼向上
- ・6次産業化や民間事業者等との連携した取組による魅力ある商品開発の促進
- ・地元産の自給飼料（飼料作物・飼料用米）やエコフィード（市内特産物の食品残さ等を活用した飼料）等による差別化の検討
- ・長州ながと和牛の定義の見直しの検討

(2) 販路開拓・拡大

- ・市内外に向けた長門市産食肉の魅力発信による認知度の向上
- ・マーケティング活動の強化によるさらなる販路の拡大
- ・道の駅「センザキッチン」、市内ホテル、飲食店、ふるさと納税及び学校給食など、地元に着したブランドの確立
- ・他産業との連携強化

■目標指数

項目	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和14年度)
長門市産ブランド食肉の認知度 (長州黒かしわ・長州ながと和牛・ 長門ゆめん豚の平均)	46%	100%

2 キャトルステーションの整備

（一社）アグリながとが運営するキャトルステーション（子牛共同育成施設）では肉用牛生産基盤の維持・拡大を図るべく、肉用牛繁殖経営の労働負担軽減及び規模拡大を図るため、肉用牛繁殖経営で生産された子牛を預かり、哺育・育成の後、子牛市場を通じて市内の農家へ供給します。

■取組内容

（１）繁殖生産基盤の強化

- ・計画的な後継牛の確保
- ・収益性の高い経営の育成・継承
- ・安定した子牛市場への出荷
- ・畜産農家の労力軽減や農家の傷病時等の一時的な預託の実施

（２）生産構造の転換等による規模拡大

- ・分業化・省力化の推進
- ・繁殖・肥育一貫経営への移行の促進

（３）品質・収益性の向上

- ・低コスト飼料供与体系の導入・推進
- ・ICT 機器導入による飼養管理技術の向上
- ・生産コスト縮減の強化
- ・獣医師による定期巡回

■目標指数

項目	現状値 （令和４年度）	目標値 （令和１４年度）
預託頭数	２４頭	５０頭

3 畜産団地の整備

肉用鶏の出荷羽数及び肥育牛の飼養頭数の拡大または安定供給を図ることと、長門市産食肉がいつでも手に入る流通・販売体制を確立します。

また、団地内の畜産関連施設整備による雇用の拡大、また新規就農者等の畜産技術習得・向上制度の充実を図ります。

■取組内容

(1) 地域内一貫体制の確立

- ・油谷向津具半島内の市有地を活用した畜産関連施設を整備
- ・肉用鶏の飼養羽数の拡大及び鶏肉の安定供給
- ・肥育牛の飼養頭数の増大及び安定供給
- ・畜産関連施設整備による生産・雇用の拡大

(2) 家畜衛生対策及び家畜伝染病対策の充実・強化

- ・生産を阻害する疾病等の発生防止、発生時のまん延防止の強化
- ・飼養衛生管理基準の遵守徹底
- ・県家畜保健衛生所との連携強化
- ・堆肥処理施設整備による衛生管理強化

(3) 新規就農者等技術習得研修施設・制度の充実

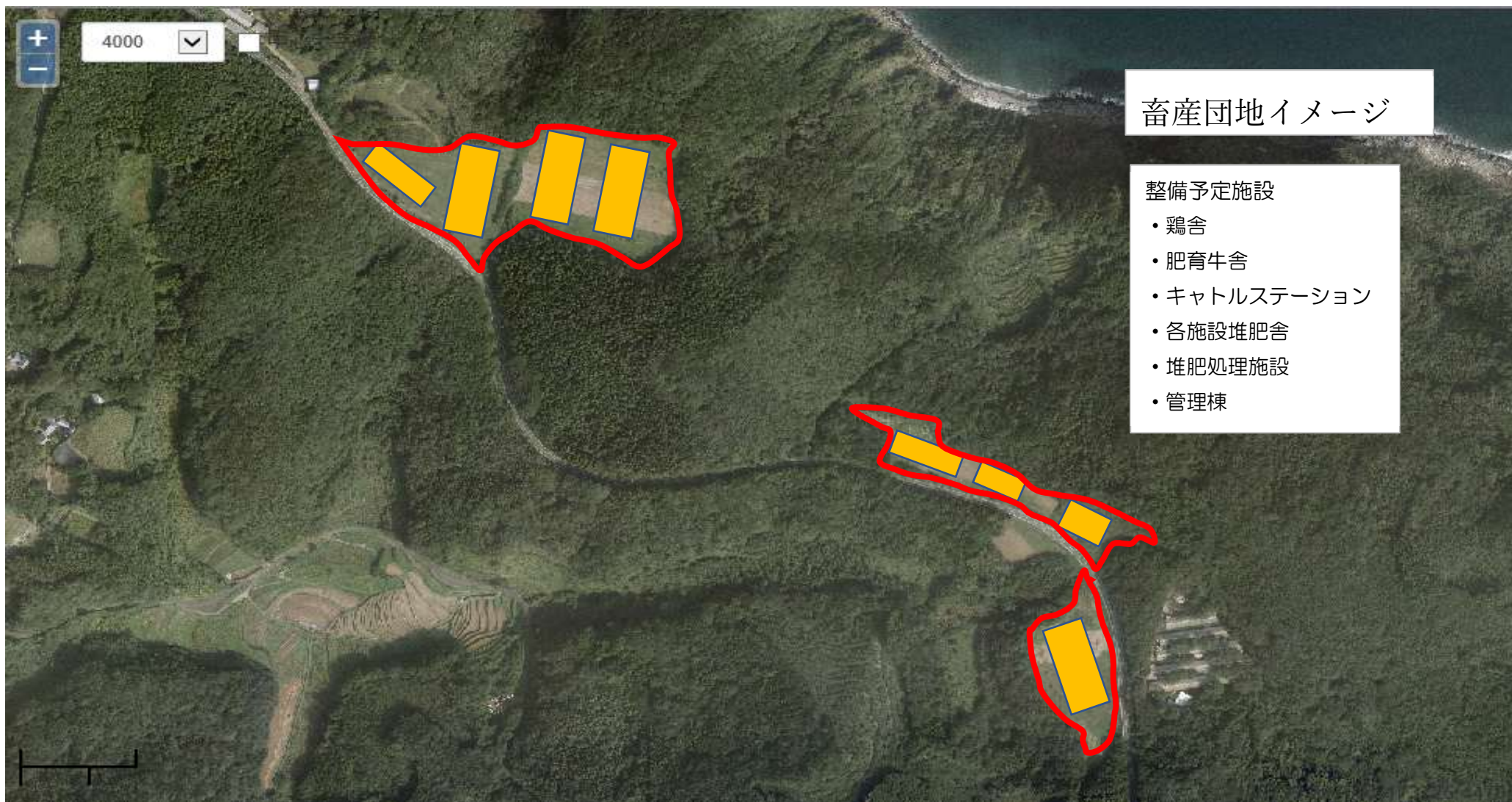
- ・経営を支える労働力や次世代の人材の確保・育成
- ・キャトルステーション（研修施設含む）での飼養管理技術の向上
- ・多様な担い手の育成と多才な農業経営の推進
- ・家族経営を含む収益性の高い経営の育成と経営資産の継承

(4) 資源循環型農業の確立

- ・有機農業への堆肥供給体制の構築
- ・家畜排せつ物を活用したバイオマスエネルギーとしての有効利用の検討

■目標指数

項目	現状値 (令和4年度)	目標値 (令和14年度)
肉用鶏出荷羽数	600万羽	650万羽
肥育牛飼養頭数	335頭	750頭



Ⅵ アンケート調査結果

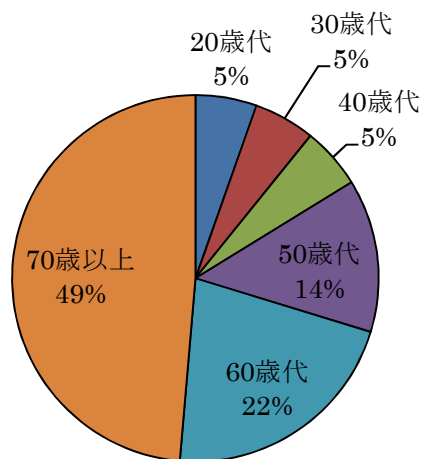
【畜産農家向け】長門市畜産振興計画策定に係るアンケート結果まとめ

調査の概要

1. 調査の目的…畜産振興計画を策定するにあたり畜産農家の意見を把握する。
2. 調査対象…市内で経営している畜産農家（肉用牛）
3. 調査期間…令和4年10月21日～令和4年11月4日
4. 調査方法…郵送及び手交により送付、回収
5. 回答率 …配布数 73 通、回答数 38 通、回答率は 52.05%である。

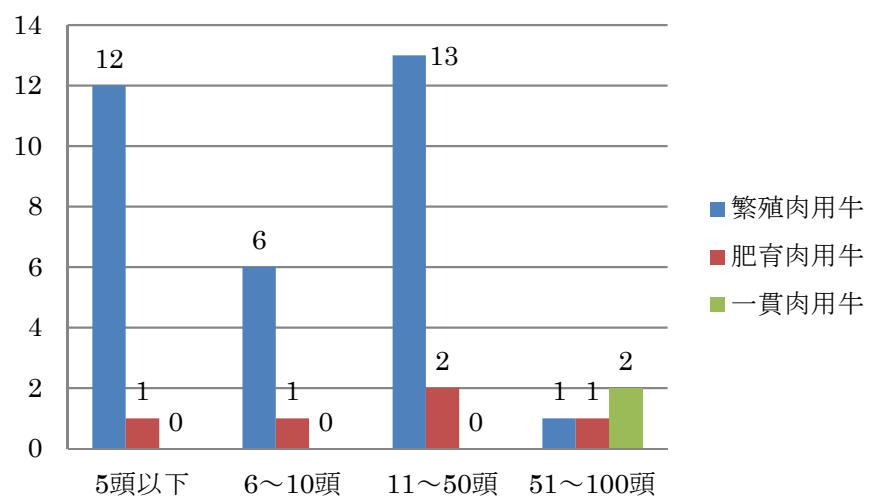
問 1.年齢について

20 歳代	2 件
30 歳代	2 件
40 歳代	2 件
50 歳代	5 件
60 歳代	8 件
70 歳以上	18 件



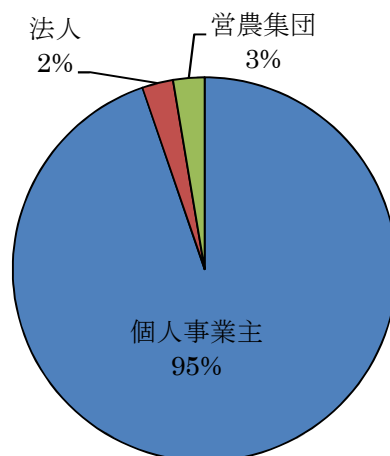
問 2・問 4 経営規模について

自身・家族のみ	26 件
繁忙期のみ雇用	7 件
通年で雇用	3 件
営農集団で経営	1 件



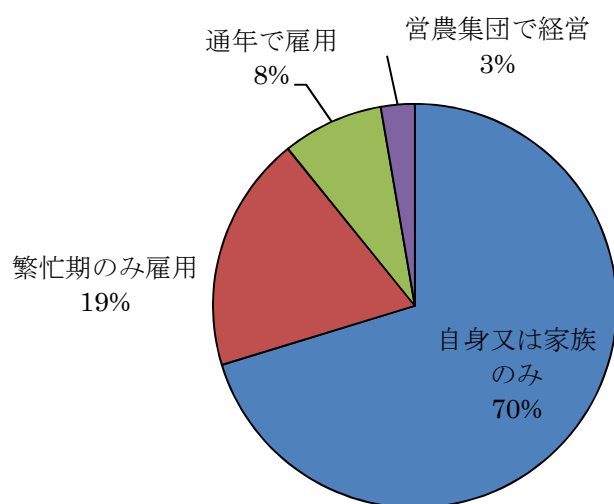
問 3.経営形態について

個人事業主	36 件
法人	1 件
営農集団	1 件



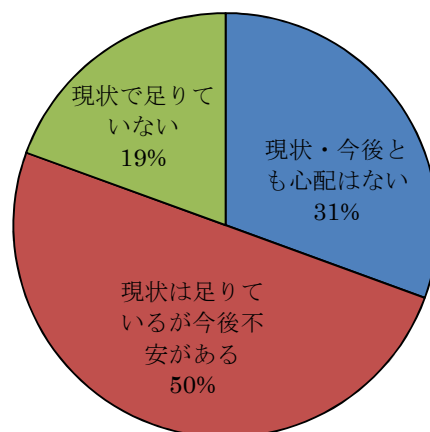
問 5.雇用の有無について

自身または家族のみ	26 件
繁忙期のみ雇用	7 件
通年で雇用	3 件
営農集団で経営	1 件



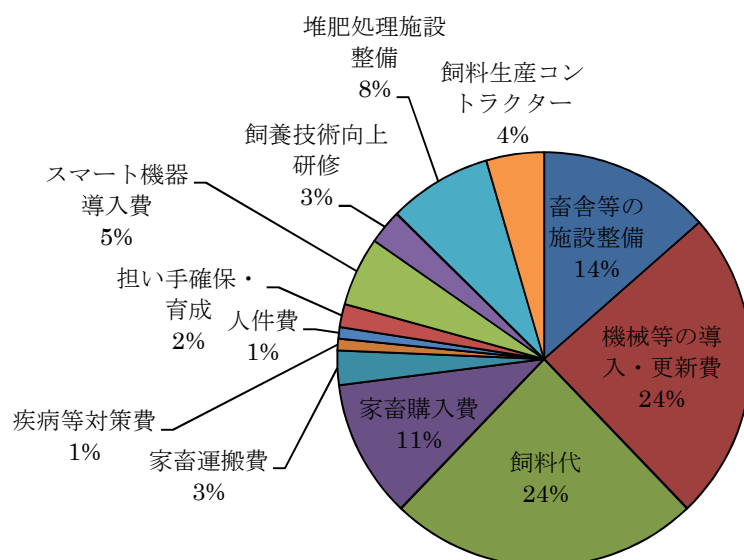
問 6.雇用人数・労働力について

現状・今後とも心配ない	11 件
現状は足りているが今後不安がある	18 件
現状で足りていない	7 件



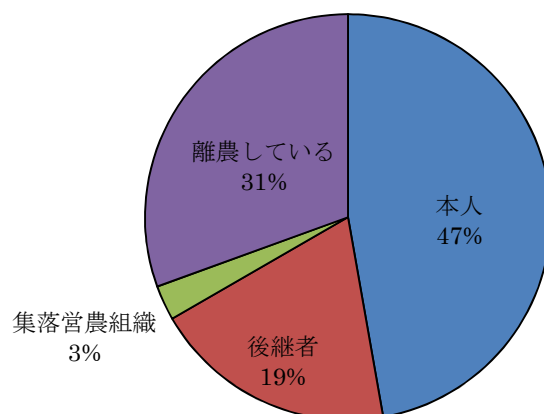
問 7.行政機関等に支援してほしいことについて

畜舎等の施設整備	15 件
機械等の導入・更新費	27 件
飼料代	27 件
家畜購入費	12 件
家畜運搬費	3 件
疾病等対策費	1 件
人件費	1 件
担い手確保・育成	2 件
スマート機器導入費	6 件
飼養技術向上研修	3 件
堆肥処理施設整備	9 件
飼料生産コントラクター	5 件



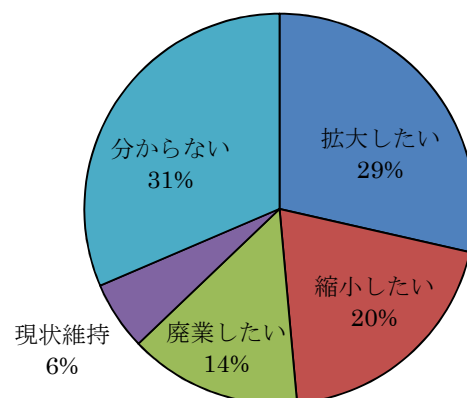
問 8.10 年後の経営主体について

本人	17 件
後継者	7 件
集落営農組織	1 件
離農している	11 件



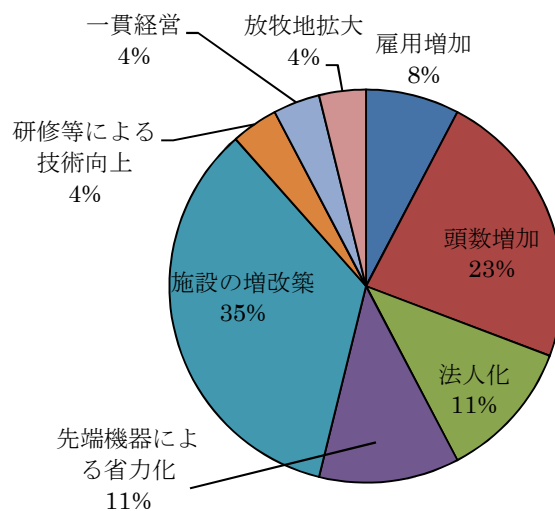
問 9.今後の経営規模について

拡大したい	10 件
縮小したい	7 件
廃業したい	5 件
現状維持	2 件
分からない	11 件



問 10.規模拡大に向けて取り組みたいこと

雇用増加	2 件
頭数増加	6 件
法人化	3 件
先端機器による省力化	3 件
施設の増改築	9 件
研修等による技術向上	1 件
一貫経営	1 件
放牧地拡大	1 件

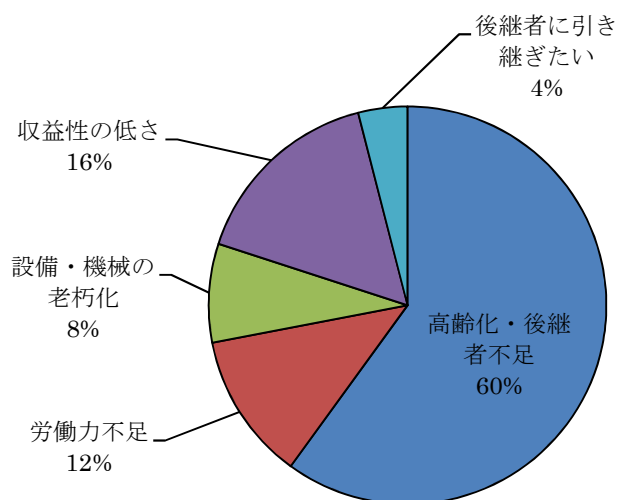


問 11.飼養頭数の増加目標について

繁殖	15 頭→18 頭	15 頭→30 頭
	9 頭→20 頭	22 頭→25 頭
	16 頭→25 頭	16 頭→20～24 頭
	6 頭→10 頭	
肥育	50 頭→60 頭	60 頭→100 頭
	0 頭→2 頭	

問 12.縮小・廃業したい理由

高齢化・後継者不足	15 件
労働力不足	3 件
設備・機械の老朽化	2 件
収益性の低さ	4 件

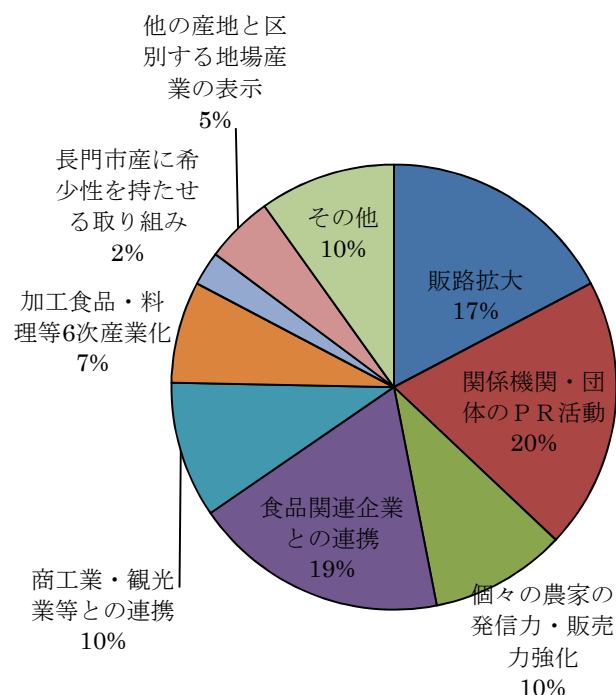


問 13. 長州ながと和牛の知名度向上・ブランド化推進に必要な取組について

販路拡大	14 件
関係機関・団体の P R 活動	16 件
個々の農家の発信力・販売力強化	8 件
食品関連企業との連携強化	15 件
商工業・観光業との連携	8 件
加工食品・料理等 6 次産業化	6 件
長門市産に希少性を持たせる取組	2 件
他の産地と区別する地場産業の表示	4 件
その他	8 件

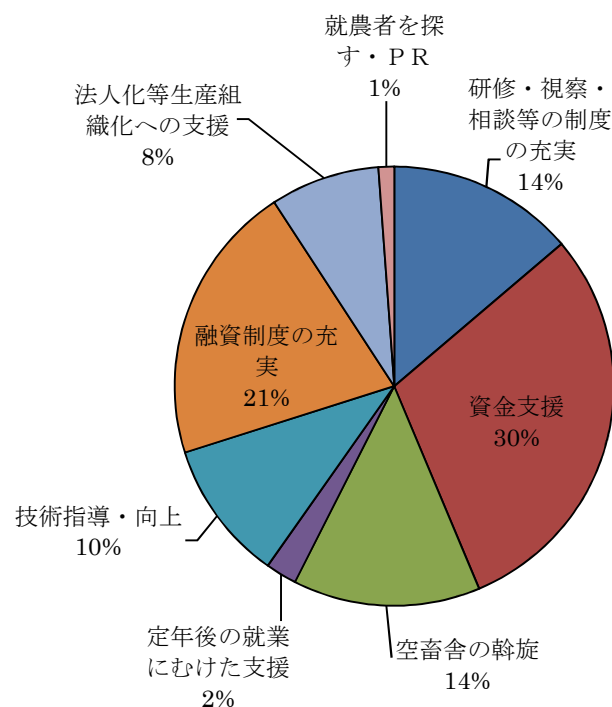
その他の意見

- ・増頭(5 件)
- ・地元産の農作物(ゆずきち等)規格外品を飼料化し地域ブランド化の特徴を加える。
(オリーブ牛のイメージ)
- ・知名度の向上(ネット販売、お土産)
- ・市民に買って食べてもらう取組



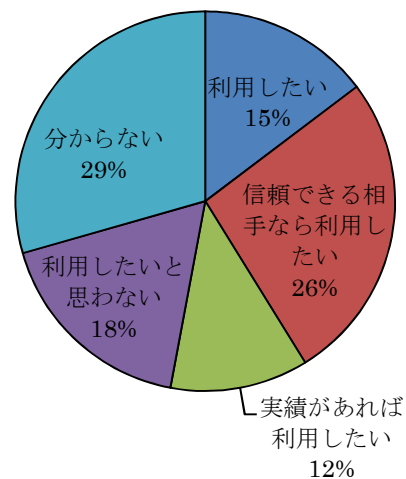
問 14. 新規就業者・畜産後継者の確保及び育成に向けた支援について

研修・視察・相談等の制度の充実	12 件
資金支援	26 件
空き畜舎等の斡旋	12 件
定年後の就業にむけた支援	2 件
技術指導・向上	9 件
融資制度の充実	18 件



問 15.CS の利用について

利用したい	5 件
信頼できる相手なら	
利用したい	9 件
実績があれば利用したい	4 件
利用したいと思わない	6 件
分からない	10 件

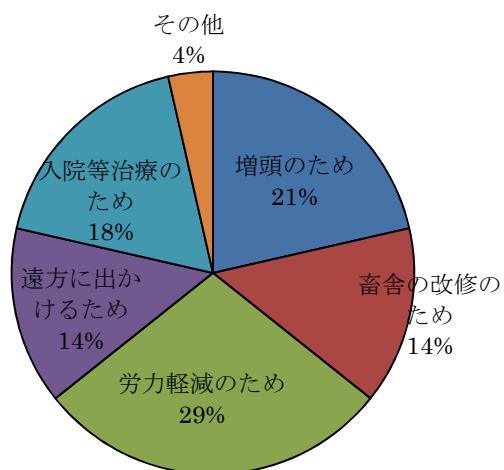


問 16.CS を利用したい理由

増頭のため	6 件
畜舎の改修のため	4 件
労力軽減のため	8 件
遠方に出かけるため	4 件
入院等治療のため	5 件
その他	1 件

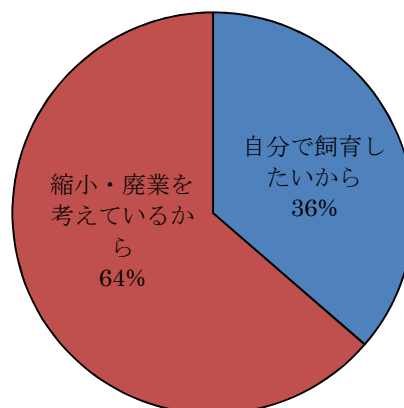
その他の意見

冬季の放牧地分娩回避



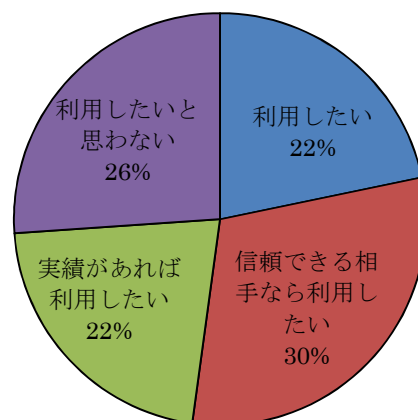
問 17.CS を利用しない理由

自分で飼育したいから	4 件
縮小・廃業を考えているから	7 件



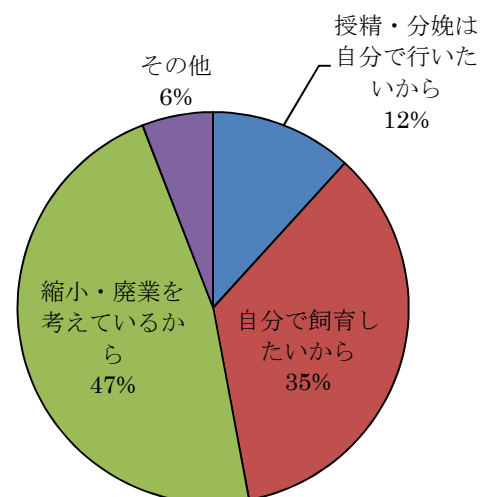
問 18.CBS の利用について

利用したい	5 件
信頼できる相手なら	
利用したい	7 件
実績があれば利用したい	5 件
利用したいと思わない	6 件



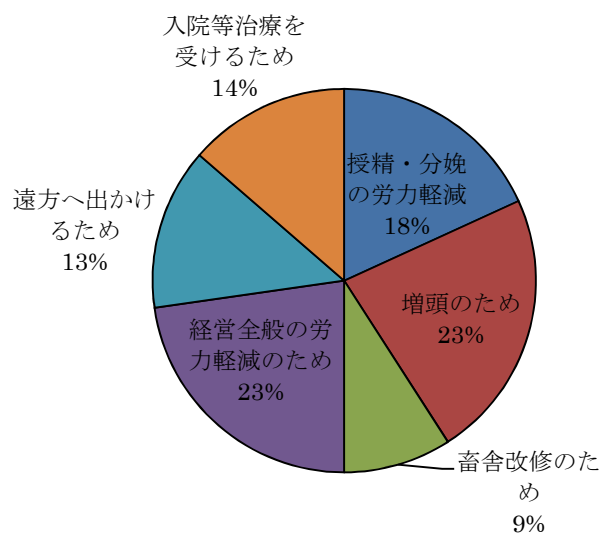
問 19.CBS を利用しない理由

授精分娩は自分で行いたいから	2 件
自分で飼育したいから	6 件
縮小・廃業を考えているから	8 件
その他	1 件



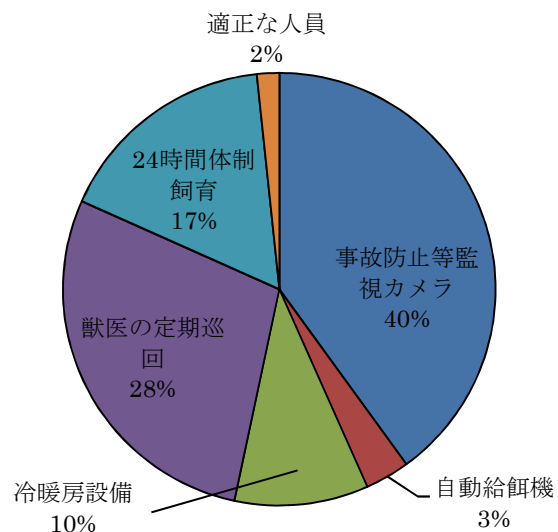
問 20.CBS を利用したい理由

授精・分娩の労力軽減	4 件
増頭のため	5 件
畜舎改修のため	2 件
経営全般の労力軽減	5 件
遠方へ出かけるため	3 件



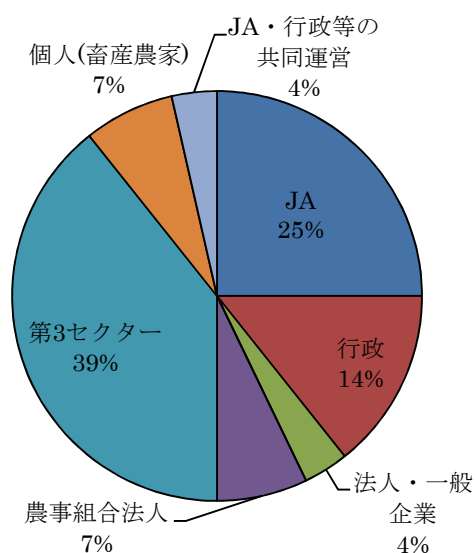
問 21.CS に必要な施設・設備、体制について

事故防止等監視カメラ	24 件
自動給餌機	2 件
冷暖房設備	6 件
獣医の定期巡回	17 件
24 時間体制飼育	10 件



問 22.CS の運営主体について

JA	7 件
行政	4 件
法人・一般企業	1 件
農事組合法人	2 件
第3セクター(アグリながと等)	11 件
個人(畜産農家)	2 件
JA・行政等の共同運営	1 件



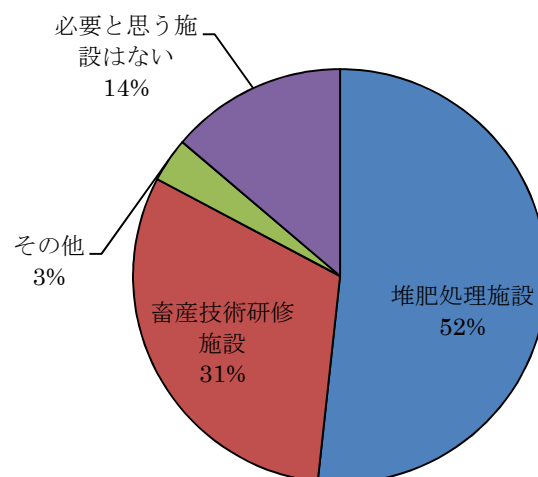
問 23.市内にあればいいと思う畜産関係の施設について

堆肥処理施設	15 件
畜産技術研修施設	9 件
その他	1 件
必要と思う施設はない	4 件

その他の意見

獣医駐在所

肥育センター・と畜場



問 24.(問 23 で)あればいいと思う理由について

1. 中山間の飼養なので堆肥を処理する場所が少ない
2. 田や畑が乾いていないと車が入れないから処理施設が必要
3. 個人での処理では限界があり、施設で処理してもらえれば農地への還元等も体制が整う
4. 堆肥の切り替えしが大変だから
5. CS を新設した場合の糞尿処理と新規就農者の飼養牛から出る糞尿処理のため必要。新規就農者の場合は処理用の農地の確保ができないと思われる(飼料畑、牧草畑など)。最終処分は深川養鶏の方式が良いと思う。(有料、耕畜連携)
6. 一部地域で個人農家が堆肥を野積みしているのがもったいないので、収集し耕種農家へ斡旋する施設が必要
7. 長州ながと和牛を広めるにしても、肥育農家が少ない。安定供給のためと畜場があれば流通が広がり、個人販売もできる
8. 堆肥処理に苦勞しているため。
9. 有機農法の普及のために堆肥の有効活用をもっと推進してほしい
10. 削蹄の研修施設がほしい
11. 良質な堆肥生産、これを市民に提供し肉用牛経営を理解してもらう一助にしてほしい
12. 若い担い手がしっかり肉用牛経営を身につけるため

【宿泊業者向け】長門市畜産振興計画策定に係るアンケート結果まとめ

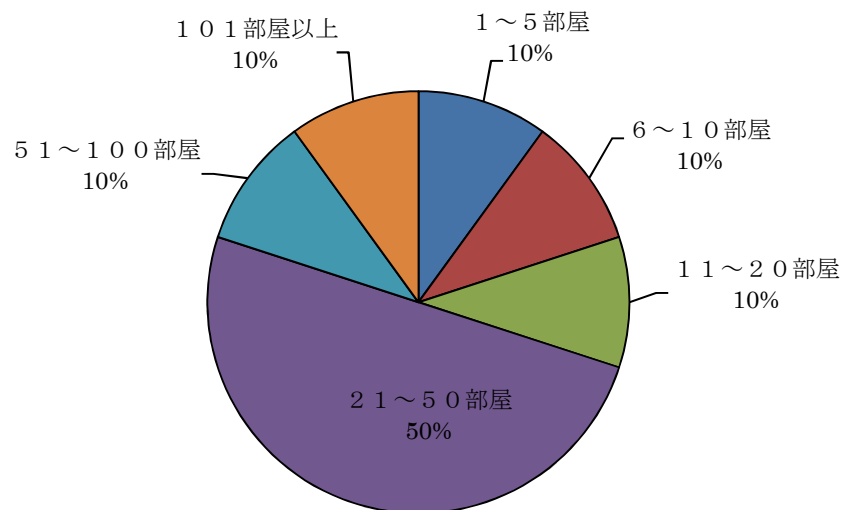
調査の概要

1. 調査の目的…畜産振興計画を策定するにあたり宿泊施設の意見を把握する。
2. 調査対象…市内で経営している宿泊施設
3. 調査期間…令和4年11月14日～令和4年11月30日
4. 調査方法…郵送により送付、回収
5. 回答率 …配布数16通、回答数10通、回答率は62.50%である。

アンケート内容と結果

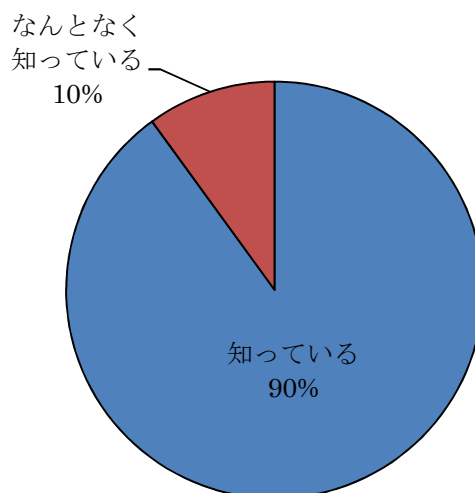
問1.施設の部屋数について

6～10 部屋	1 件
11～20 部屋	1 件
21～50 部屋	1 件
51～100 部屋	1 件
101 部屋以上	1 件



問2.あなたは長州黒かしわを知っていますか？

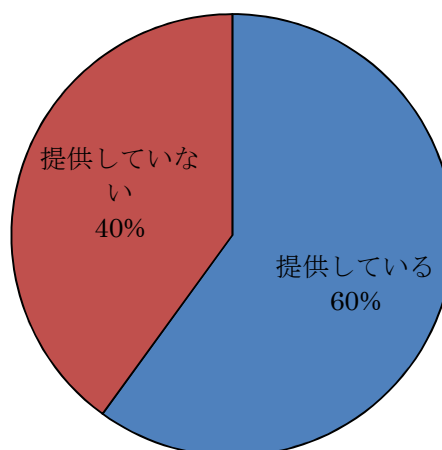
知っている	9 件
なんとなく知っている	1 件



問 3.あなたは長州黒かしわを提供していますか？

提供している 6 件

提供していない 4 件

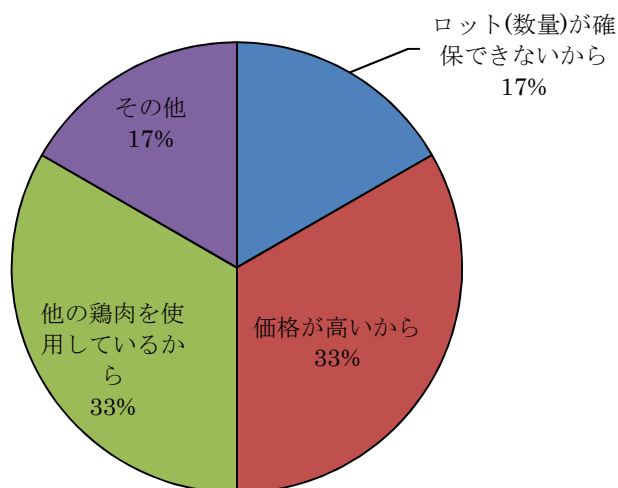


問 4.提供していない理由は何ですか？

価格が安くなれば提供する 1 件

利用者から要望があれば提供する 1 件

使用する予定はない 1 件

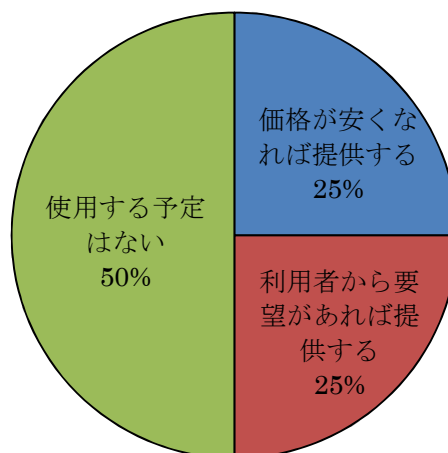


問 5.今後提供してみようと思いますか？

価格が安くなれば提供する 1 件

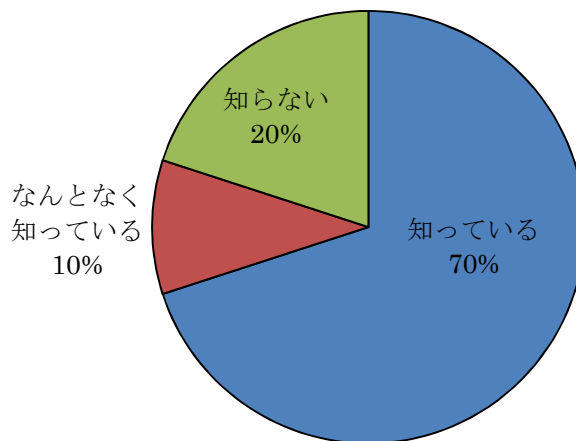
利用者から要望があれば提供する 1 件

使用する予定はない 1 件



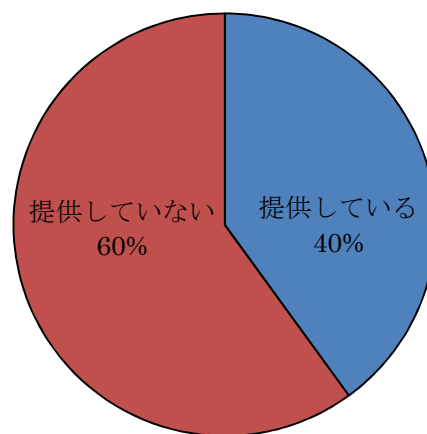
問 6.あなたは長州ながと和牛を知っていますか？

知っている	7 件
なんとなく知っている	1 件
知らない	2 件



問 7.施設で長州ながと和牛を提供していますか？

提供している	4 件
提供していない	6 件

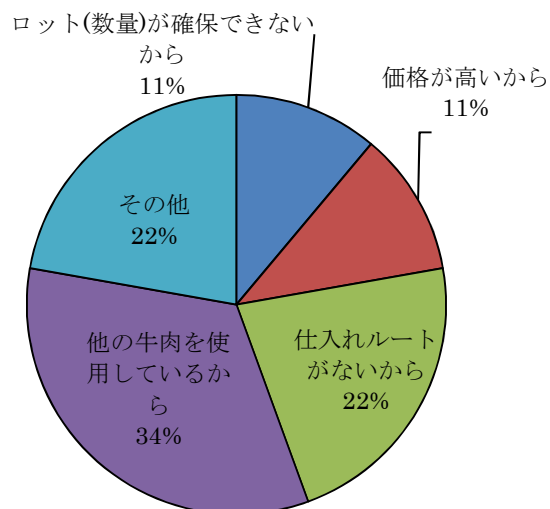


問 8.提供していない理由は何ですか？

ロットが確保できない	1 件
価格が高い	1 件
仕入れルートがない	2 件
他の牛肉を使用している	3 件
その他	2 件

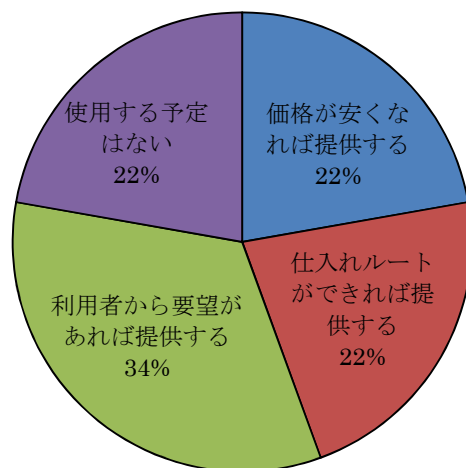
※その他の意見

- ・供給量が少なすぎる
- ・納品配送がない



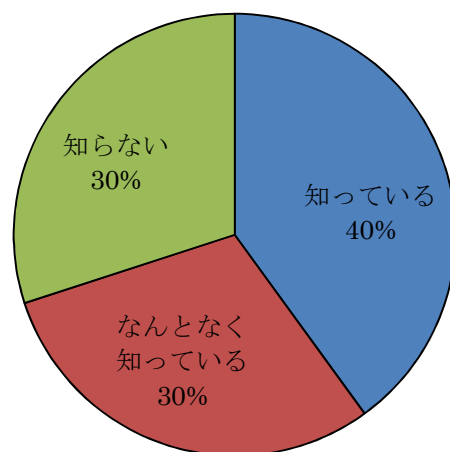
問 9.今後提供してみようと思いますか？

価格が安くなれば提供する	2 件
仕入れルートができれば提供する	2 件
利用者から要望があれば提供する	3 件
使用する予定はない	2 件



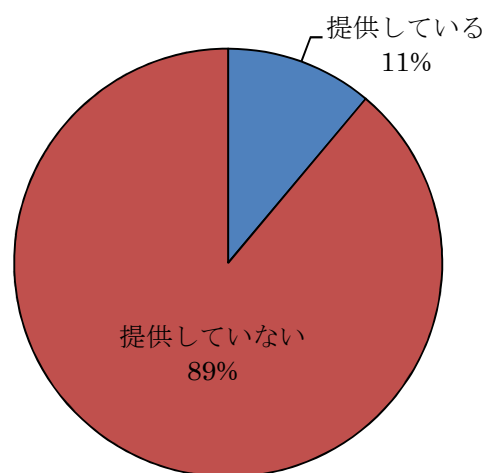
問 10.あなたは長門ゆめん豚(旧三隅三元豚)を知っていますか？

知っている	4 件
なんとなく知っている	3 件
知らない	3 件



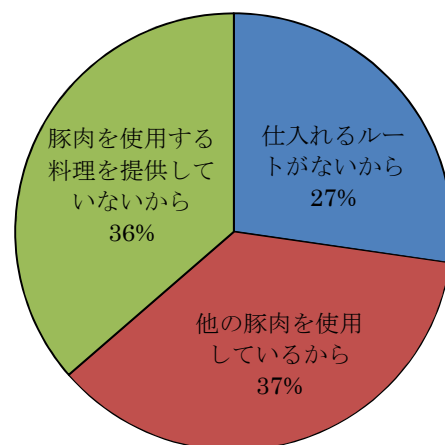
問 11.施設で長門ゆめん豚を提供していますか？

提供している	1 件
提供していない	8 件



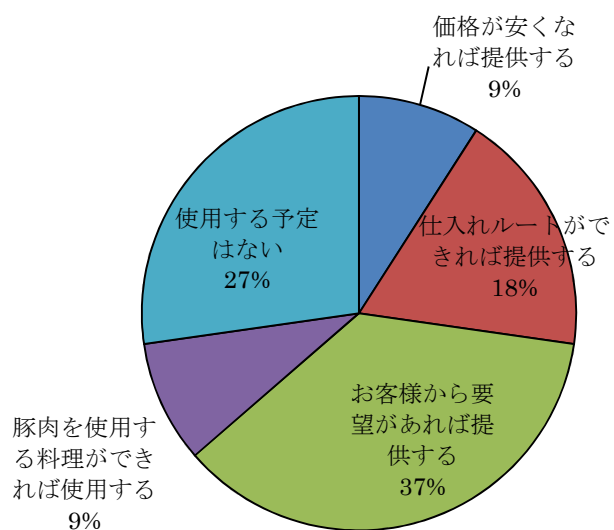
問 12.提供していない理由は何ですか？

仕入れるルートがないから	3 件
他の豚肉を使用しているから	4 件
豚肉を使用する料理を提供していないから	4 件



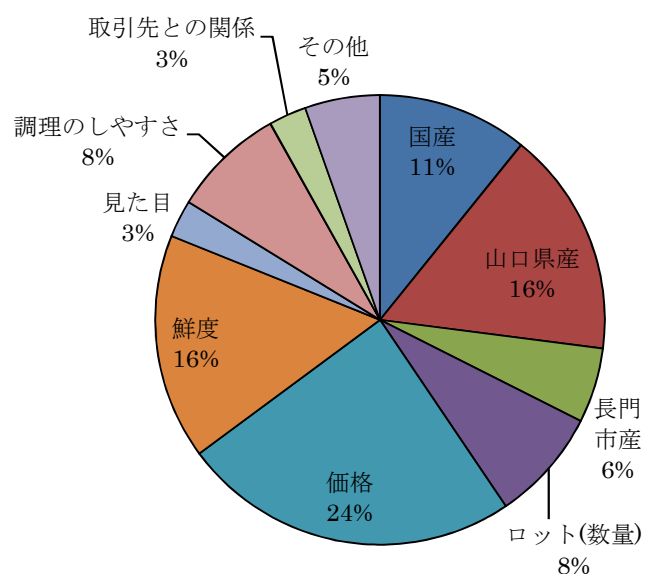
問 13.今後提供してみようと思いますか？

価格が安くなれば	
提供する	1 件
仕入れルートが	
できれば提供する	2 件
お客様からの要望が	
あれば提供する	4 件
豚肉を使用する料理	
ができれば提供する	1 件
提供する予定はない	3 件



問 14 食肉類を仕入れる際にどのようなことを重視しますか？

国産	4 件
山口県産	6 件
長門市産	2 件
ロット(数量)	3 件
価格	9 件
鮮度	6 件
見た目	1 件
調理のしやすさ	3 件
取引先との関係	1 件
その他	2 件



問 15 あなたの施設において、鶏肉・牛肉・豚肉のうち市内外問わず何らかのブランド肉を使用していますか？

鶏肉

- ・長州黒かしわ：3 件
- ・長州どり：4 件

牛肉

- ・無角和牛：2 件 ・やまぐち和牛きらめき：2 件
- ・高森和牛 ・長萩和牛 ・皇牛・ 長州ながと和牛

豚肉

- ・鹿野ポーク(四之豚)：2 件
- ・むつみ豚：2 票 ・長門ゆめん豚

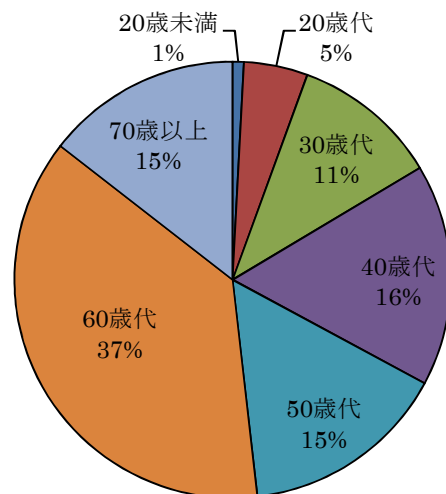
【一般市民向け】長門市畜産振興計画に係るアンケート結果まとめ

- 1.調査の概要…畜産振興計画の策定にあたり地域住民の意見を反映するため。
- 2.調査対象 …長門市民の中から 1,000 人をランダムに抽出
- 3.調査期間 …令和 4 年 12 月 9 日～令和 4 年 12 月 28 日
- 4.調査方法 …郵送により送付、回収
- 5.回答率 …配布数 1,000 通、回答数 361 通、回答率は 36.1%である。

アンケート内容と結果

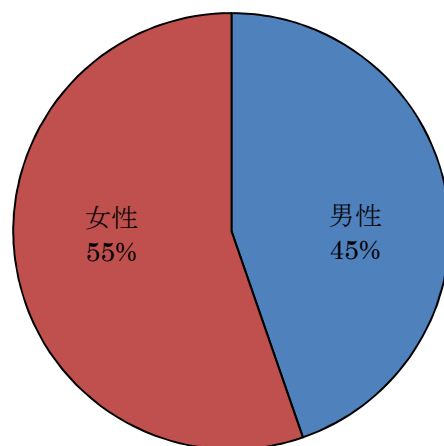
問1. あなたの年齢は次のどれですか

- 1)20 歳未満 3 件
- 2)20 歳代 17 件
- 3)30 歳代 39 件
- 4)40 歳代 59 件
- 5)50 歳代 55 件
- 6)60 歳代 134 件
- 7)70 歳以上 52 件



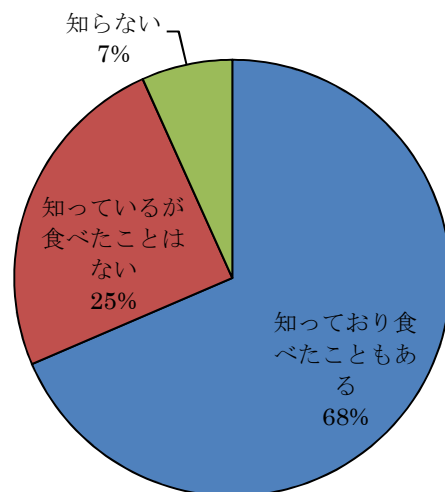
問2. あなたの性別はどちらですか

- 1) 男性 160 件
- 2) 女性 198 件



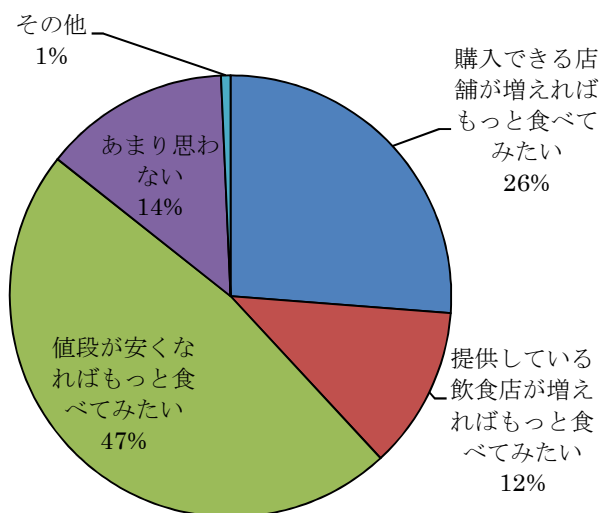
問3. あなたは長州黒かしわを知っていますか、また食べたことはありますか

- 1) 知っており食べたこともある
244 件
- 2) 知っているが食べたことはない
88 件
- 3) 知らない
24 件



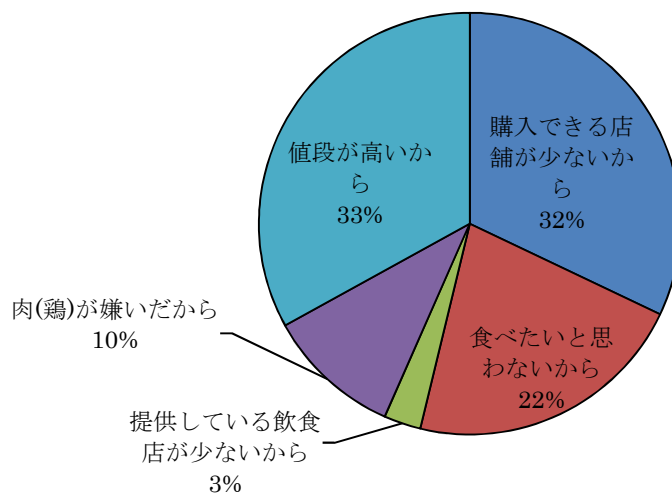
問4. 長州黒かしわが入手しやすくなればもっと食べてみたいと思いますか

- 1) 購入できる店舗が増えればもっと食べてみたい
75 件
- 2) 提供している飲食店が増えればもっと食べてみたい
34 件
- 3) 値段が安くなればもっと食べてみたい
136 件
- 4) あまり思わない
39 件
- 5) その他
2 件



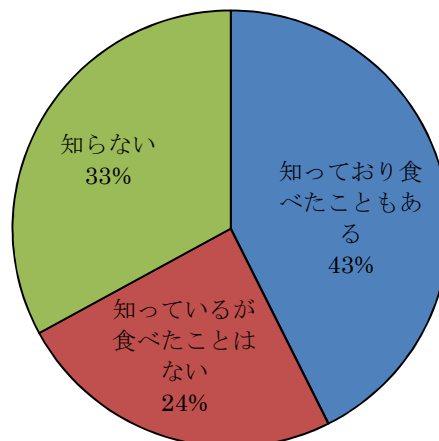
問5. 食べたことがない理由はなんですか

- 1) 購入できる店舗が少ないから
34 件
- 2) 食べたいと思わないから
23 件
- 3) 提供している飲食店が少ないから
3 件
- 4) 肉(鶏)が嫌いだから
11 件
- 5) 値段が高いから
35 件



問6. あなたは長州ながと和牛を知っていますか、また食べたことはありますか

- 1) 知っており食べたこともある
150 件
- 2) 知っているが食べたことはない
86 件
- 3) 知らない
116 件



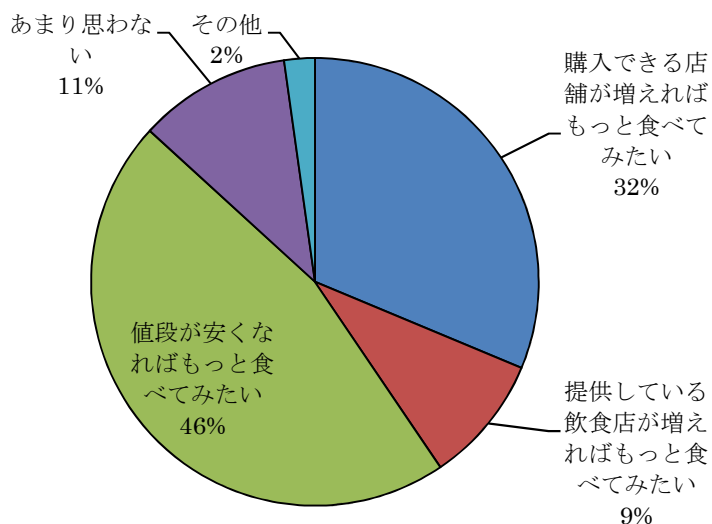
問7. 長州ながと和牛が入手しやすくなればもっと食べてみたいと思いますか

- 1) 購入できる店舗が増えればもっと食べてみたい
71 件
- 2) 提供している飲食店が増えればもっと食べてみたい
21 件
- 3) 値段が安くなればもっと食べてみたい
105 件
- 4) あまり思わない
25 件
- 5) その他
5 件

↓

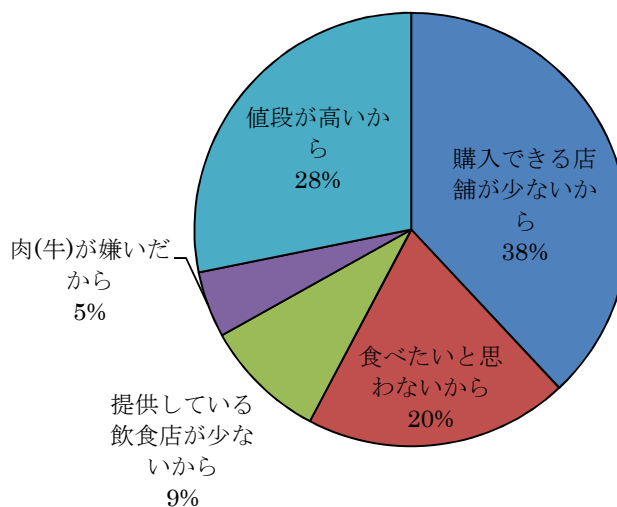
(その他の意見)

・今もよく食べている



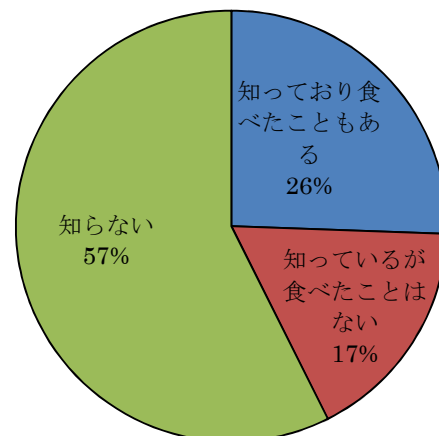
問8. 食べたことがない理由はなんですか

- 1) 購入できる店舗が少ないから
54 件
- 2) 食べたいと思わないから
28 件
- 3) 提供している飲食店が少ないから
13 件
- 4) 肉(牛)が嫌いだから
7 件
- 5) 値段が高いから
40 件



問9. あなたは長門ゆめん豚(旧三隅三元豚)をしていますか、また食べたことはありますか

- 1) 知っており食べたこともある 90 件
- 2) 知っているが食べたことはない 60 件
- 3) 知らない 202 件



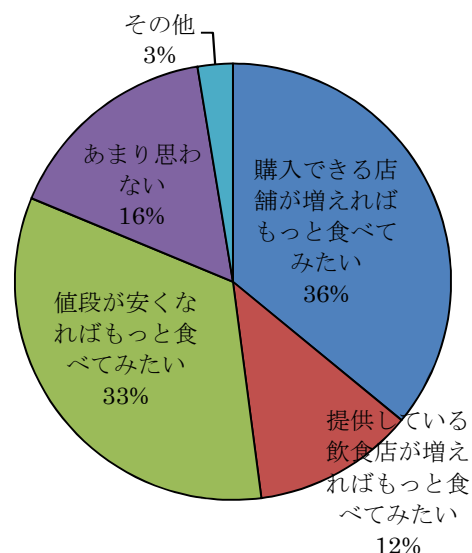
問10. 長門ゆめん豚(旧三隅三元豚)が入手しやすくなればもっと食べてみたいと思いますか

- 1) 購入できる店舗が増えればもっと食べてみたい 69 件
- 2) 提供している飲食店が増えればもっと食べてみたい 23 件
- 3) 値段が安くなればもっと食べてみたい 64 件
- 4) あまり思わない 31 件
- 5) その他 5 件

↓

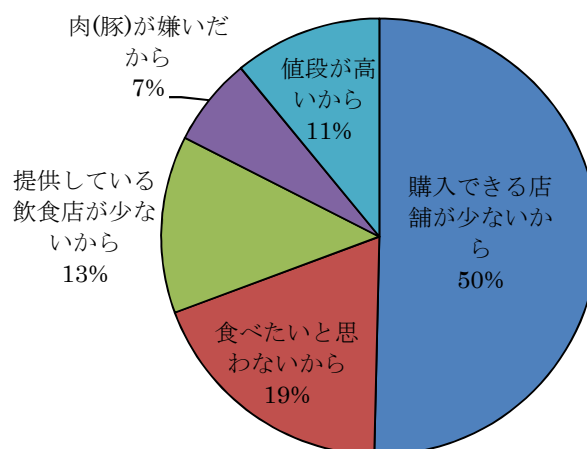
(その他の意見)

- ・他の豚との違い、良さがよく分からない



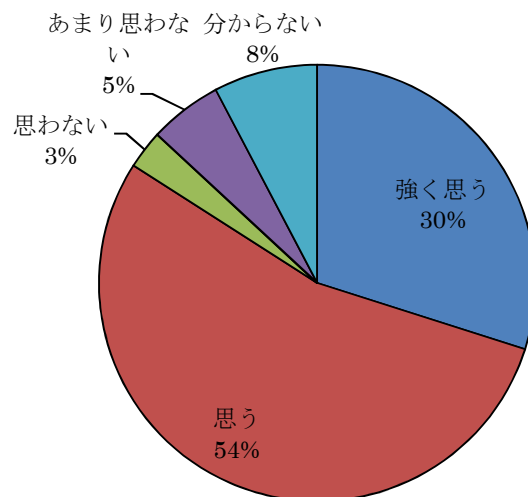
問11. 食べたことがない理由はなんですか

- 1) 購入できる店舗が少ないから 69 件
- 2) 食べたいと思わないから 26 件
- 3) 提供している飲食店が少ないから 18 件
- 4) 肉(豚)が嫌いだから 9 件
- 5) 値段が高いから 15 件



問12. 長州黒かしわ・長州ながと和牛・長門ゆめん豚(旧三隅三元豚)をもっと市内外へ宣伝したほうが良いと思いますか

- | | |
|------------|-------|
| 1) 強く思う | 105 件 |
| 2) 思う | 190 件 |
| 3) 思わない | 10 件 |
| 4) あまり思わない | 19 件 |
| 5) 分からない | 27 件 |



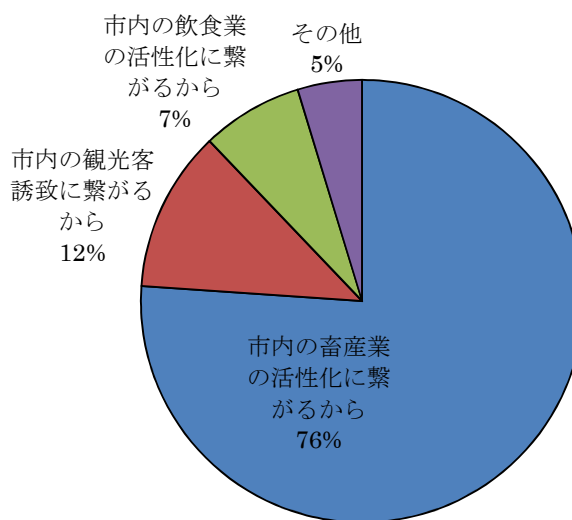
問13. そう思う理由はなんですか

- | | |
|---------------------|-------|
| 1) 市内の畜産業の活性化に繋がるから | 226 件 |
| 2) 市内の観光客誘致に繋がるから | 35 件 |
| 3) 市内の飲食業の活性化に繋がるから | 22 件 |
| 4) その他 | 14 件 |

↓

(その他の内容)

- ・美味しいから
- ・まずは地元民が知っておかないと
- ・地域に根付いていて、地元の人が美味しいと思うものを宣伝してほしい。外の人もそういうものに興味があると思うし、愛着があれば市民が自発的に宣伝すると思う。



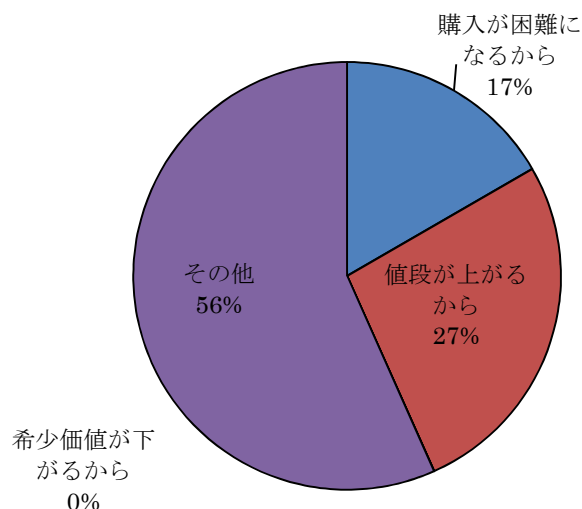
問14. そう思わない理由はなんですか

- | | |
|---------------|------|
| 1) 購入が困難になるから | 5 件 |
| 2) 値段が上がるから | 8 件 |
| 3) 希少価値が下がるから | 0 件 |
| 4) その他 | 17 件 |

↓

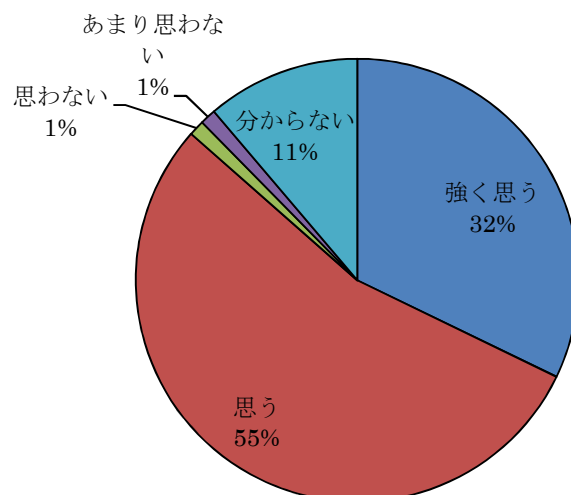
(その他の内容)

- ・商品に価値を感じていない、興味がない
- ・宣伝しても興味を持ってもらえないと思うから
- ・悪臭、汚泥管理をまずしてほしい
- ・生産者が需要の増加に対応できそうにないから
- ・宣伝しても畜産業の環境改善に繋がらないから



問15. 長州黒かしわ・長州ながと和牛・長門ゆめん豚(旧三隅三元豚)を市内宿泊施設や道の駅など幅広く提供したほうが良いと思いますか

- | | |
|------------|-------|
| 1) 強く思う | 112 件 |
| 2) 思う | 189 件 |
| 3) 思わない | 4 件 |
| 4) あまり思わない | 4 件 |
| 5) 分からない | 39 件 |



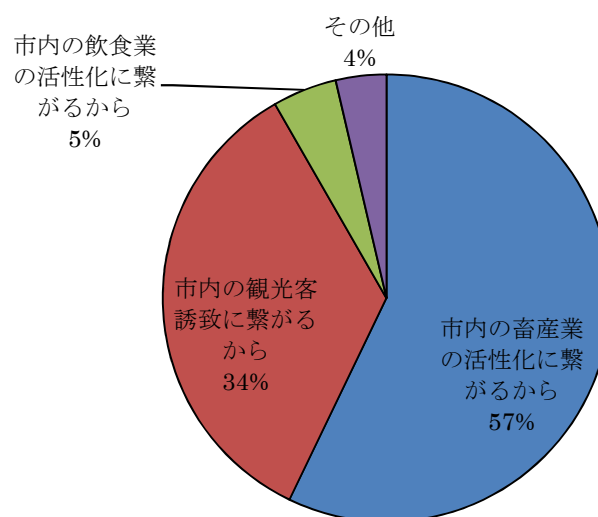
問16. そう思う理由はなんですか

- | | |
|---------------------|-------|
| 1) 市内の畜産業の活性化に繋がるから | 172 件 |
| 2) 市内の観光客誘致に繋がるから | 104 件 |
| 3) 市内の飲食業の活性化に繋がるから | 14 件 |
| 4) その他 | 11 件 |

↓

(その他の内容)

- ・美味しいから
- ・需要の拡大が安定生産・単価低下に繋がるから
- ・地域に根付いて評判が良ければ提供してほしい
- ・まずは市内のスーパーで提供するところから



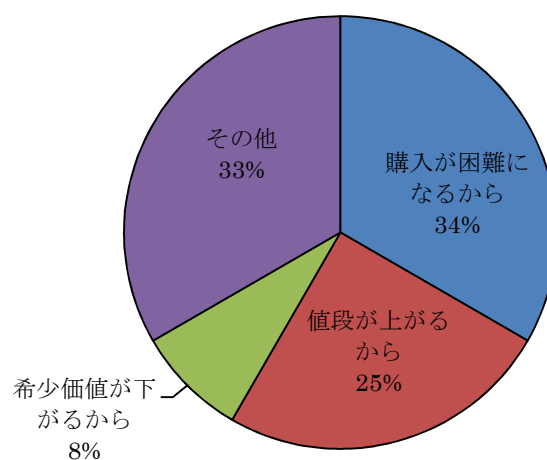
問17. そう思わない理由はなんですか

- | | |
|---------------|-----|
| 1) 購入が困難になるから | 4 件 |
| 2) 値段が上がるから | 3 件 |
| 3) 希少価値が下がるから | 1 件 |
| 4) その他 | 4 件 |

↓

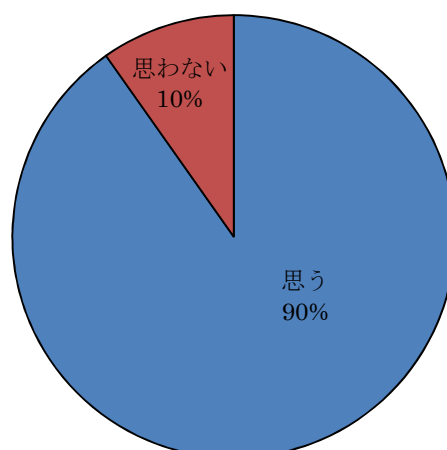
(その他の内容)

- ・宣伝しても効果が薄いと感じる。
- ・ブランドに興味を持たない



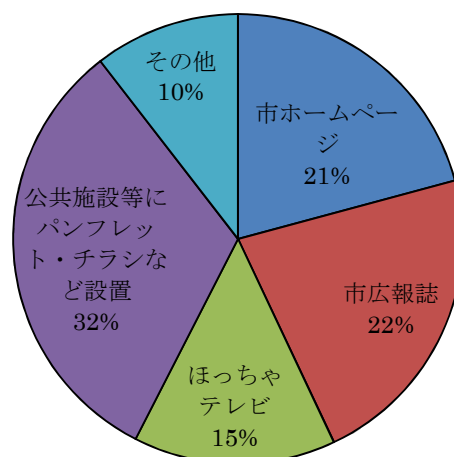
問18. あなたは、長州黒かしわ・長州ながと和牛・長門ゆめん豚(旧三隅三元豚)を手軽に入手できるまたは気軽に味あえる店舗情報などの情報発信環境をもっと整備した方が良いと思いますか

- | | |
|---------|-------|
| 1) 思う | 304 件 |
| 2) 思わない | 33 件 |



問19. どういった発信源があれば良いと思いますか(複数回答可)

- | | |
|-------------------------|-------|
| 1) 市ホームページ | 123 件 |
| 2) 市広報誌 | 131 件 |
| 3) ほっちゃんテレビ | 86 件 |
| 4) 公共施設等にパンフレット・チラシなど設置 | 189 件 |
| 5) その他 | 62 件 |



(その他の内容)

- | | |
|------------------------------|------|
| ・ネット活用 (SNS、YouTube) による情報発信 | 28 件 |
| ・テレビ番組・CM による情報発信 | 8 件 |
| ・道の駅、スーパー等でポスターやパンフレットを設置 | 6 件 |
| ・PRイベント | 4 件 |
| ・ふるさと納税返礼品 | 3 件 |
| ・ロコミ | 2 件 |
| ・学校給食 | 1 件 |
| ・新聞のチラシ | 1 件 |

長門市畜産振興計画

発行年月日：令和 5 年 3 月

発 行：長門市 農林水産課 農業振興班

〒759-4192 山口県長門市東深川 1339 番地 2

TEL：(0837) 23-1140 FAX：(0837) 22-8458